

第 24 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 2 年 9 月 25 日（金）午後 5 時から午後 5 時 25 分
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、舟本副知事、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、商工労働観光部長兼企画理事、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ただ今から、京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催させていただきます。
- ・府内ではこの間、感染者数は減少傾向となる中、学校ですとか、あるいは高齢者施設での感染が確認されております。本日はこういう状況も踏まえまして、改めて今後の対応を協議いただくため、対策本部会議を開催させていただきました。
- ・それでは、西脇知事に進行をお願いします。

【知 事】

- ・今ございましたように、8 月 29 日に特別警戒基準を一旦下回り、9 月 23、24 日の 2 日間、警戒基準を下回っております。全体としては、新規感染者は減少傾向だと思っております。
- ・この間の府民、事業者の皆様の御協力、また、医療従事者の皆様に改めて感謝を申し上げたいと思います。
- ・一方で、9 月以降も感染者はおりますし、中学校、高校、それから高齢者施設等での集団感染事例も発生しており、引き続き、緊張感を持った対応が必要だと思っております。本日は、そうした感染状況の現況を踏まえながら、松井議長の御助言もいただきながら、今後の対応について議論したいと考えております。
- ・まずは、最近の感染状況について、健康福祉部長から報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・続きまして、専門家会議の松井議長から御助言をよろしく願いいたします。

【専門家会議議長】

- ・全体としては、感染者数の減少が見られているところですが、9 月以降、中学校、高校と、学校での感染が広がっている状況でございます。これは以前にも指摘させていただきましたが、

感染症は、学校で友人からうつって、それが家庭内で広がるというのが一般的な広がり方ですが、もう一つ注意しないといけないのが、高齢者への感染拡大ということです。

- ・重症化リスクの高い高齢者の方への感染は、引き続き警戒が必要だという状況は変わっていないので、よろしくお願いいたしますと思います。

【知 事】

- ・ありがとうございました。続きまして、今後の対応につきまして、危機管理監からの事務局案の説明をよろしくお願いいたします。

【危機管理監】

※資料2に基づき説明

【知 事】

- ・ありがとうございました。今後の対応案につきましても、松井議長から御意見をよろしくお願いいたします。

【専門家会議議長】

- ・繰り返しになりますが、対策の目的としては、リスクの高い高齢者への感染拡大をいかに防ぐかということであることを府民の皆さまにも確認をお願いしたいと思います。
- ・そのための具体的な方策として、飲食店、あるいは大学・学校現場が、感染のリスクが高いという状況ですけれども、そういう場所での、必要に応じたマスクの着用、手指の消毒、そして3密を避けるということの継続をお願いしたいと思っております。
- ・これから冬に向かって発熱を伴う疾病が増えてくるわけですけれども、それに対応できるように医療体制をしっかりと整えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。

【知 事】

- ・ありがとうございました。続きまして、京都市の三科危機管理監からよろしくお願いいたします。

【京都市危機管理監】

- ・京都市では、9月を感染防止徹底月間に位置づけまして、全局、区役所があらゆる媒体を通じまして、市民の皆さん、事業者の皆さんに、新しい生活スタイル、新しいスタイルの営業の実践を呼び掛けてまいりまして、飲食店での発生が大きく抑えられてきているのではないかなと、手応えを感じております。
- ・こうした、衛生管理に係る呼びかけ、取組は、コロナだけではなく、季節性インフルエンザにも有効であると思っておりますので、こういったところを引き続き呼びかけを行って、コロナ、インフルエンザ、両方の感染の芽を摘んでいくことが大事だと思っております、積極的に取り組んでいきたいと考えております。
- ・また、府市連携、医師会とも連携しての相談、検査体制の構築していくことで、冬場のリスクを

低く抑えていきたいと思っております。

- ・また、高校、中学校でクラスターが発生しました。ハイリスク者への感染拡大には結果として至っていないということですが、学校生活での感染防止に改めて力を入れてまいりたいと思っております。

【知 事】

- ・ありがとうございました。先日の門川市長との府市懇談会におきましても、改めて、府市が連携して対応するべく確認しておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
- ・それでは、今、御説明いたしました今後の対応の事務局案について、他に何か御意見、御発言はございませんでしょうか。もし無ければ、今後は、この事務局案に基づきまして引き続き、対策に取り組んでまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。
- ・続きまして、先ほどから話題になっております、この間、中学生、高校生の感染が報告されております。公立学校、私立学校における取組等につきまして、まずは教育長、引き続いて、文化スポーツ部長から報告をお願いいたします。

【教育長】

- ・現時点までの、京都市を含む公立学校の児童・生徒、教職員の感染状況につきましては、今月に入ってからクラスターと見られる京都市立中学校での 24 名を含め、児童・生徒は 76 名、教職員は 19 名の感染が確認されております。
- ・この間、感染防止対策としては、具体的な活動場面ごとの予防対策を示しました、文部科学省の衛生管理マニュアルに基づき、各学校で新しい生活様式の徹底が行われるよう指導してきたほか、家庭における予防対策についても、留意点をお知らせしております。
- ・部活動につきましては、各競技団体が作成するガイドラインに則り活動するよう指導するとともに、府教委独自に練習試合等の対外的活動等のエリア等の制限を設けてきたところでありますが、10 月以降は、府外での宿泊を伴う活動も含め制限を解除することとしております。
- ・また、修学旅行、研修旅行につきましては、文部科学省や旅行業協会のガイドラインを参考に、出発前の健康観察を十分に行うなどの対策を取った上で、実施に向けて検討を行うよう指導しております。
- ・現在まで、府教委所管の学校では、校内での集団感染は発生しておりませんが、府内の学校でそうした事例が見られたこと、また、今後、インフルエンザの流行期に備える必要もあることから、夏期に、熱中症対策として一部緩和してきたマスクの着用をはじめ、改めて、基本的な感染対策の徹底を図るほか、集団での接触や発声を伴う部活動など、リスクの高い教育活動に対する注意喚起を、府立学校や市町の教育委員会に向けて、再度徹底してまいりたいと考えております。
- ・合わせて、中学生、高校生に向けては、京都大学の iPS 細胞研究所の山中所長のメッセージ動画を活用した啓発を行ってまいります。

【文化スポーツ部長】

- ・続きまして、府内の私立学校、幼稚園におけます対応状況を御報告いたします。4 月以降、現時

点までの私立の幼稚園、小中高等学校、専修学校、各種学校の感染状況につきましては、児童・生徒が 59 名、教職員等が 8 名となっております。このうち、私立高等学校の課外活動を通じまして、生徒 36 名の感染が確認されているところでございます。

- ・また、これまでの感染防止対策につきましては、教育委員会と同様に、文部科学省の学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルの徹底ほか、府教育委員会の通知並びに取組状況につきまして、私立学校にもお示しし、各学校におきまして感染防止対策を行っていただいているところでございます。
- ・また、寮のある学校に対しましては、生徒の入寮までに、検温による体調管理などの必要な対策の徹底とともに、寮生活におけます感染予防対策のガイドラインの作成などをお願いしているところでございます。
- ・さらに、学校におきまして集団感染の発生がありますことから、中学、高校の校長会におきまして、京都大学の iPS 細胞研究所の山中所長のメッセージ動画を校長先生に見ていただいた上で、それを活用して中高生への注意喚起をお願いしたところでございまして、引き続き、各学校に対して注意喚起を行ってまいりたいと考えております。

【知 事】

- ・中学生、高校生の感染は、家族に対する感染の事例も出ております。松井議長も仰られたように、感染症はもともと、学校を起源に始まっているということもございますので、引き続き、徹底した感染防止対策を要請するということで、生徒への啓発もお願いしたいと思っております。
- ・そのほかに報告事項等があればよろしくお願いいたします。では、商工労働観光部長、よろしくお願ひします。

【商工労働観光部長】

- ・ガイドライン推進宣言事業所ステッカーの配布状況につきまして、御報告いたします。7 月 30 日から、感染拡大防止に取り組んでおられる事業者の見える化を図るということで、ガイドライン推進京都会議におきまして、ステッカーの配布を始めております。先週末までの状況でございますけれども、総計 19,811 枚のステッカーを配布しております。
- ・また、昨日 9 月 24 日からは、京都府におきましても、Go To Eat キャンペーンの食事券事業者の飲食店登録をスタートさせました。登録にあたりましては、このステッカーの貼付を条件といたしております。府内で総額 80 億円に及ぶ食事券の発行を通じまして、コロナ禍で大きな被害を受けている飲食業の需要喚起を図ってまいりたいと考えておりますが、これにつきましても、ステッカーの貼付を条件としまして、安心である環境に引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

【知 事】

- ・ステッカーの普及につきましても、引き続き取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。
- ・そのほかに御発言がなければ、本日の会議について、総括を申し上げたいと思っております。
- ・5 月下旬以降、感染拡大防止と社会経済活動の両立ということで、取組を進めてまいりました。

- ・この間、医療関係者の皆さまの御尽力によって、医療検査体制も大幅に拡充されておりますし、ステッカーや接触確認アプリ等の普及もあります。それから、何と言っても新しい生活様式が府民の皆さまに浸透しているということで、感染防止は着実に進んでいっていると思っております。そうしたことから、一昨日からは警戒基準も下回るという状況でございます。
 - ・ただ、集団の感染事例もございます。季節性インフルエンザの流行期が間もなくまいりますので、それに備えて、引き続き感染拡大防止に取り組む必要があると考えております。
 - ・また、先日の4連休を見ましても、人の流れが戻ってきております。それがどのように影響するかはまだ読めないわけでございます。そうしたことも含めて、緊張感を持って対応していただきたいと思えます。
 - ・各部局におかれましては、飲食店等における感染拡大の防止、それから、大学の後期授業が間もなく全大学で始まります大学生、また、中学生、高校生の感染拡大の防止、それと、何と言いましても、重症化リスクの高い方への対策は徹底して行っていただきたいと思えます。
 - ・それから、国の制度改正に注視しないといけないわけですが、京都府医師会と完全に連携いたしまして、医療検査体制の充実に取り組んでいただきたいと思えます。
 - ・感染拡大の防止と社会経済活動の両立は矛盾しているものではなく、感染予防が徹底しているからこそ、社会経済活動が取り戻してこられていることを、皆さん御理解していただいていると思います。基本的な感染予防対策をきちっと行うということ前提に、様々な取組を進めていくことが重要だと考えております。
 - ・季節性インフルエンザの流行期がまいりますので、引き続き、国や市町村、関係機関の皆さまと連携しながら柔軟に対応していただくようお願いいたします。
- 私からは以上でございます。よろしくお願いいたします。

【危機管理監】

- ・ありがとうございました。関係の各部局におかれましては、先ほどの指示事項を踏まえまして、万全の取組をお願いしたいと思います。
- ・松井議長、三科危機管理監におかれましては、御多忙のところ御出席いただきまして誠にありがとうございました。
- ・この後、知事の記者会見を行いますので、報道機関の皆さまには、今しばらくお待ちをいただきたいと思います。以上をもちまして、対策本部会議を終了させていただきます。